

スクールバス 住民も

飯能市が 中山間地の交通補う 実証実験

飯能市は、市立吾野小学校の児童が登下校で利用しているスクールバスに住民も乗車できる一般混乗化に向け、実証実験に乗り出した。既存の行政交通サービスを活用し、懸案だった中山間地域の生活交通を補う。本年度は効果や課題を探り、早ければ2019年度中の導入を考えている。

(関根義浩)



吾野小学校の児童と吾野地区の住民が乗るスクールバス
—飯能市立吾野小停留所

吾野地区は路線バスがなく、西武池袋・秩父線が乗り入れているが、東吾野駅・吾野駅・西吾野駅の駅間距離が長い上に駅までの交通手段が不足しているため、沿線から遠い集落の住民や車の運転が困難な高齢者にとって、不便な生活が続いている。交通弱者対策が同地区で長年の懸案だった。

実証実験は来年3月26日まで行い、一般混乗者の利用状況や停留所の位置などについて検証する。吾野地区約千世帯の住民が対象で、北川、南川2地域の登校便(各1便)と下校便(各1〜2便)に無料で乗車できる。市が国際興業と業務委託契約を結ぶスクールバスを活用し、北川コースは児童9人、南川コースは6人の児童が利用している。

申請手続きをした住民に利用登録証が交付され、約100人が登録を済ませている。吾野小学校(児童数32人)は来年度、東吾野小学校、西川

小学校と統合され、統合後の児童は西川小学校舎(新校名未定)に通学する。実証実験は統合後の吾野地区で、スクールバスの一般混乗化を見据えて行つた。

市内の名栗小や原市場小などでもスクールバスを運行しており、実証実験の結果をみて同様に一般混乗を検討する方針だ。市交通政策室は「生活交通の不足は既存の

交通手段を有効活用する方向で解消したい」と話している。

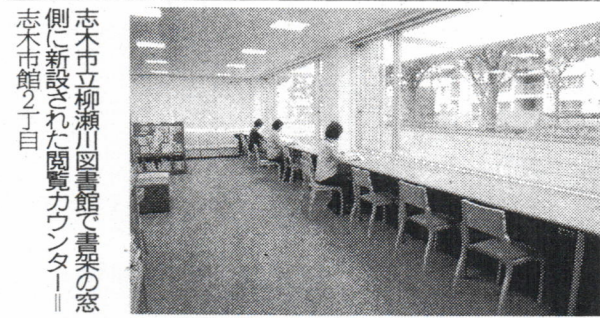
下校便に乗車していた同市南川の50代女性は「マイカーがなく、買い物は週1回、ご近所さんの車に同乗し、1週間分を買い込んでいた。最近では週3回、スクールバスで買い物に出掛けている」と話していた。

授乳室など新設

志木市 柳瀬川図書館を改修 23日開館

外壁や屋根の補修をはじめ老朽化した設備の更新のため、大規模改修工事に着手していた志木市の市立柳瀬川図書館が23日、リニューアルオープンする。書架の窓側に蔵書を閲覧できるテーブルと椅子を設置したり、パソコン専用室を新設したりするなど市民らの利便性の向上を図つた。

改修された同図書館は鉄筋地下1階、地上2階建てで約2300平方メートル。外壁や屋根などを補修し、WiFi(ワイファイ)環境を整備したパソコン専用室や乳児を連れた利用者のための授乳室などを新設した。また、地下階の児



志木市立柳瀬川図書館で書架の窓側に新設された閲覧カウンター。志木市館2丁目



竣工(しゅんこう)。書籍約16万冊を所蔵している。改修工事は約3億4千万円を投入し、2017年7月から今年3月まで実施していた。

オープン初日は午前、市立第2中学校吹奏楽部の演奏や人形劇、よみかせなどのイベントを実施するほか、文化勲章受章者で大阪大名誉教授の斯波義信さんが「図書館と私」と題して、24日は高齢者のアイデアを生かした工房を主宰する桑原静さんが「多様な世代が地域で生き生きと暮らす」と題して、それぞれ講演する。

両日の講演はいずれも午後1時半から開催。定員60人。希望者は当日、先着順。

問い合わせは、同図書館(048-487-2004)へ。

(毛利伸二)

市議会

◇加須市 竹内政雄 1ツ振興に 減災力を高 清心氏(同) の推進▽池 芦マークの 氏(創政会) 交通事故、 喜一朗氏(同) 伴い外国人 ケーシンの 氏(民進) 興▽中條恵 費支給に関 のために▽ 英子氏(同) 路の整備促 (同) 地域産 徳蔵氏(同) の推進

◆手渡し詐 ードなど被害